



平成29年1月24日

各 位

会社名 株式会社 ライトオン
代表者名 代表取締役社長 横内 達治
(コード：7445 東証第一部)
問合せ先 執行役員管理部長 三浦 憲之
(TEL：029-858-0321)

平成29年8月期第2四半期（累計）及び通期業績予想の修正 並びに配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成28年9月27日に公表した平成29年8月期（平成28年8月21日～平成29年8月20日）の業績予想並びに配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

1. 平成29年8月期第2四半期（累計）業績予想の修正（平成28年8月21日～平成29年2月20日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成28年9月27日公表)	48,500	3,150	3,100	1,800	65円84銭
今回修正予想(B)	43,400	450	420	30	1円10銭
増減額(B-A)	△5,100	△2,700	△2,680	△1,770	
増減率(%)	△10.5	△85.7	△86.5	△98.3	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成28年8月期第2四半期)	46,407	2,932	2,905	1,684	61円89銭

2. 平成29年8月期通期業績予想の修正（平成28年8月21日～平成29年8月20日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成28年9月27日公表)	91,000	4,050	4,000	2,000	73円16銭
今回修正予想(B)	85,700	1,250	1,200	100	3円65銭
増減額(B-A)	△5,300	△2,800	△2,800	△1,900	
増減率(%)	△5.8	△69.1	△70.0	△95.0	
(ご参考) 前期実績 (平成28年8月期)	86,462	3,733	3,677	1,754	64円35銭

3. 修正の理由

「ナショナルブランド商品の強化、魅力的なプライベートブランドの展開」、「ベーシックアイテムの強化」などの戦略が奏功し、平成 27 年 8 月期第 3 四半期から平成 28 年 8 月期にかけて既存店売上高が伸長したことから、これらの戦略を継続強化すること、ならびに平成 28 年 9 月 27 日に発表いたしました中期経営計画「NEXT36」に掲げた「さらなる商品力の強化」などの施策によって平成 29 年 8 月期も既存店売上高は継続伸長するものと想定しておりました。（平成 27 年 8 月期下半期の既存店売上高は前年比 107.9%、平成 28 年 8 月期通期の既存店売上高は前年比 109.2%、当期の既存店売上高の予想前年比は 103.0%）

しかしながら、当第 2 四半期累計期間におきましては、9 月、10 月と全国的に気温が高い日が続くとともにたび重なる台風の影響により、秋物の立ち上がりが苦戦いたしました。11 月は、TVCM の効果もあり、来店客数が増加したことで売上は伸長いたしましたが、12 月、1 月は保温機能素材のボトムスなど一部堅調に推移した商品もあったものの、ニットやアウター類等の冬物商品の販売は全般的に苦戦いたしました。また、素材や機能など商品力の強化については一定の成果が見られたものの、前年の売れ筋を踏襲した商品群が多くなったため、売場が新鮮味に欠け、集客力が大きく落ち込みました。

以上の結果、当第 2 四半期累計期間の既存店売上高は前年比 93.0%と予想され（当初は前年比 103%と予想）、当第 2 四半期累計期間の売上高は前回予想を大幅に下回る見込みとなりました。また、利益につきましては、中期経営計画「NEXT36」達成に向け、積極的な投資、経費投入を行いました。売上動向が鈍かったため、値下げロスが増加し、売上総利益が減少したことにより、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに計画を下回る見込みとなりました。

下半期につきましては、中期経営計画「NEXT36」の主要施策で掲げた「MD 検証の強化による商品の差別化、あるべき商品の品揃えの実現」、「品質のさらなる向上、QR の仕組みづくりなどサプライチェーンの強化」、「ナショナルブランドの強化（デニムブランドをはじめとした圧倒的な品揃え）」といった「商品力の強化」を軸に、各施策を実践してまいりますので、概ね当初計画の前提のままとし、通期につきましては、上期の実績見込みを踏まえ、通期業績予想を上記のとおり見込んでおります。

●配当予想の修正について

	年間配当金		
	第 2 四半期末	期末	合計
前回予想 (平成 28 年 9 月 27 日発表)	15 円 00 銭	15 円 00 銭	30 円 00 銭
今回修正予想	10 円 00 銭	10 円 00 銭	20 円 00 銭
当期実績			
(ご参考) 前期実績(平成 28 年 8 月期)	15 円 00 銭	15 円 00 銭	30 円 00 銭

1. 修正の理由

当社は、株主の皆様に対する安定的な配当の継続を重視しつつ、業績に裏付けられた利益還元を指向してまいり方針としております。当期におきましては、業績予想の修正に伴い、中間配当を 1 株当たり 10 円、期末配当を 1 株当たり 10 円に修正することといたしました。株主の皆様におかれましては、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

(注) 上記の予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上